

第8回 碩田中学校区新設校開校準備委員会 会議要旨

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火） 19:00～20:30

場所：大分市教育センター 研修室 302

○出席者 18 名、欠席者 1 名

1. 開会のことば

2. 委員長あいさつ

3. 議事

(1) 経過報告

- ・第 8 回開校準備委員会までの経過について説明する。

(2) 各専門部会からの報告・協議

①報告及び協議

- ・報告と協議を併せて、専門部会ごとに 20 分程度の時間を設定する。

【学校部会】

- ・資料集 2 ページを基に、校歌（案）について部会長の安東委員から説明する。

(説明内容の概要)

- ・校歌（案）がつくられた経緯を説明する。
- ・校歌（案）は 3 番まであり、過去・現在・未来を表現した 3 部構成となっている。

<主な意見>

【委員】校歌（案）については、曲の後半部分を 2 部合唱にするとといったような編曲をもう少し加える予定である。また、開校の時や入学式の際に碩田中のブラスバンド部に新しい校歌を演奏してもらえたらいいと思う。

【委員】歌詞の意味や込められた思いなどを解説したものがあるか。

【事務局】過去・現在・未来を表現したことと、児童生徒が使ってほしいという言葉が多く取り入れたことを作詞者から聞いている。詳細な歌詞の解説は無いが、子どもたちがそれぞれ感じ取ってほしい。

【委員長】子どもたちが歌っている声が聞こえてきそうな、とても素敵な曲だと感じた。

<確認事項>

- 校歌（案）については異議なく了承された。

【学校支援部会】

- ・資料集3～5ページを基に、地域連携室、PTA組織、今後の予定等について部会長の佐藤委員から説明する。

(説明内容の概要)

- ・地域連携室の使用手続や使用許可基準等の案について説明する。
- ・PTA組織等については、4校合同臨時PTA総会で仮承認を得た。今後は入学説明会の場等を利用して新入学の保護者に説明していく。
- ・今後、新設校に関するさまざまな情報を共有する場については、新たに設けず今ある会議等を利用する。

<主な意見>

- 【委員】地域住民が地域連携室を使用する場合に夜間の使用は可能か。
- 【委員】午前8時から午後10時まで使用できる。
- 【委員長】地域連携室も学校施設なので、学校の教育活動でも使用できるということでもいいか。
- 【委員】使用許可基準の中に碩田学園等学校教育機関が入っているので使用できる。
- 【委員】地域連携室を使用する際の駐車場はあるか。
- 【委員】専用の駐車場ではないが来客用駐車スペースが少しある。小グラウンドの整備が終われば広い駐車場ができる予定である。

<確認事項>

- 地域連携室については現在の取組を承認し、使用方法などに関しては開校後に学校が決定していくこと。
- PTA組織等については説明会などの場を利用して保護者に説明をしていくこと。

【施設部会】

- ・資料集6～7ページを基に、工事の進捗状況、今後のスケジュールについて部会長の兼子委員から説明する。

(説明内容の概要)

- ・工事の進捗状況については、校舎外部の足場などが外れ全体が見えるようになり、内部もほぼ完成を迎えようとしている。
- ・開校後も大・小グラウンド、通路橋、部室棟などの整備は継続し、平成29年度末で終了する予定である。
- ・開校に向けたスケジュールとして、3/3に新校舎のアリーナで現在の碩田中の卒業式を行い、3/16、3/17に分けて児童生徒のプレ登校、3/18に地域の方を対象に校舎の内覧会、4/12に7年生の入学式、4/13に1年生の入学式、4/14に開校記念式典を予定している。

<主な意見>

- 【委員】小グラウンドの整備が終わるまでは駐車場があまり無いとのことだったが、育成クラブの指導員の駐車場がどうなるかという話も出てきているので、駐車場整備の計画があれば教えてほしい。
- 【委員】育成クラブの指導員の駐車場に関しては、近隣の駐車場を借りてもらうというのは難しいと思うので、新しい校長先生に協議をしようと思う。
- 【委員】昨年11月に開催された碩田学園に係る説明会資料を持っていない人が非常に多いので、この資料を再度学校で配布してもらえないか。
- 【事務局】全員分の在庫が無いので配布はできないが、大分市のホームページに掲載しているのでそれを見てほしい。
- 【委員長】4校のホームページにも同じ資料があるので、みなさんに教えてあげてほしい。

4. アドバイザーからの助言

- ・アドバイザーである大分大学教育学部の伊藤教授、日本文理大学工学部の西村教授から助言をいただく。

- 地域連携室の活用については、外部の方が使うことだけでなく、児童生徒と保護者や地域住民の方との交流の場として使うことも考えてほしい。
- 他市町村でも地域連携室と同じような施設を持つ学校がある。碩田学園に地域連携室ができれば市内や県内の学校から注目されると思うので、他市町村の学校も参考にしながら、単に地域連携室を作るだけでなく、どのような活用方法があるか、どのようにして学校の教育活動につなげていくかということも考えてほしい。
- 学校が力を発揮していく上で地域の力というのは本当に大きい。地域連携室を学校と地域の連携の取組に活用して行ってほしい。
- 碩田学園の校舎は、基礎部分になる1階に地域連携室と児童育成クラブがあって、児童と地域の方が交流できるつくりになっており、その上に1年生から9年生の教室がある。学校が地域に支えられているというコンセプトの校舎になっているので、ソフト面でもそのように運営して行ってほしい。
- 地域連携室以外にも大きなオープンスペースがいくつもある。これらの活用方法は無限にあるので、今までに無い取組をやって新しい教育活動を展開して行ってほしい。
- 地域住民の方と行政と専門家とみんなで協力し合って学校をつくっているということを実感している。これは大分市にとっても歴史的なことになるのではないと思う。碩田学園に関してはこれで終わりではなくこれからが始まりなので、さらに協力し合って学校をつくってほしい。

5. 閉会のことば